

# SF

1970.8

No. 10

## \* 夏期合宿特集号

- 合宿にあたって
- 蔵王へ行くのだ
- スケジュール
- 企画内容

明治大学SF研究会

# 70夏期合宿 ■ SFへのJ.P.R.O. ↓ ↑

今年もやっぱり夏が来て、学校は休みになりました。合宿の季節になりました。SF研もひかれます。蔵王八霞王へと移る。ゆくま、それ、元氣な仲間、明大SF研。

「ういっわけだ？」合宿です。——なぜ合宿をやるのか？ SF研では不毛の議論です。今回で四度目の合宿なのですが、これまで同様、ナントナク合宿はした方がいいのだい甘コトで決行することに決まりました。

＊ SFとSF研——合宿とは

やっぱり不毛の議論として、SF論、サークル論、があります。もともとSF論はSF界でも各人各論、争、議論がでるところか、ハナンがカミ合わねい状態です。SF研では、皆おろこうさんばかりなので、話し合った、こカミ合わねいとは成刻御承知なので、予うとも話題にのらざ、ハタに言い出さうものなら白い目でみられそうは有様で、一種のタブーとさえはりつつあります。

「サークル論」またしかりで、弱点の一つであります。もともと「サークル」と限定しなくとも、いわゆる「組織論」が若手のようです。昨年の明大闘争においても、何ら

明確な主体的方向がうち出せなかつた一因として、このよう背景が考えられるのではないのでしょうか。

そして、こういったことが、自分とSF研の関わり——SF研の中の自分、というものを考えたくして思っているのだと思います。——当然の結果として、「SF研の合宿」について、ナゼヤルノカ、ドウヤルノカ、はっきりさせるどころか、これらの問題をどう扱ってよいのかとまどうばかりです。むしろ、自分の意見をもっている人もいます。が、それらはあくまで、その人の意見にすぎず、「SF研の見解」とはなっておりません。又一方、そんなことはどうでもいい、とにかくたのしくやろうと思っ、こいる人もいろいろあります。——そして、こういった事が問題にほっているのです。SF研という組織の活動が停滞気味であり、誰もか何とかしはくちやと漠然とでも思っている以上、もはや、「SF論」「サークル論」をさけてばかりはいられなれいと思ひます。

なぜ合宿をするのかという問いに対する答えは出ていませんが、一週間の同じところ、しよに生活するということ、状況に期待できることはいろいろあるはずなのですが、それさえもわかつていはいという情ない状態なのです。

＊ とにかくやってみよう



話題にのらぬ、ヘタに言い出さうものなら白い目でみられ  
そうは有様で、一種のタフとさえ取りつつあります。

「サークル論」またしかりで、弱点の一つであります。  
もともと「サークル」と限定しなくとも、いわゆる「組織  
論」が若手のようです。昨年の甲大闘争においても、何ら

＊ とにかくやってみよう

あはた、SFは嫌いですか？ 嫌いなはずはないですわね  
好きでもないのにSF研にはいつたりはしませんものね。  
でも、子供の寄せ集めじゃあるまいし、(ソレトモソウナノ  
カチ) 甲大SF研としてほれだけじゃあまりにも寂し  
いんじゃないでしょうか。ひとつこの辺でSFというもの  
に腰をいれくせまってみようではありませんか。幹事会、  
実行委員会はこのようは意図のもとに今回の合宿を企画し  
ました。可やる気のないのはこさせるな、切り捨てるノ  
ほんぞと口をすげらす人もいました。

SFを読んで書いて読書会をやっ——これらのこと  
SFというものに本気ごとりでみたくてのこととだけ  
れば結局Eマつぶし以上のものにはほらないでしょう。も  
っとも可人住は、死ぬまでのEマつぶしである」と信じて  
いる人もいるのですから何ともいえはいいのかもしれない  
それでも、とにかくやってみよう。本気でSFにとりく  
んでみようではありませんか。

＊ 合宿は蔵王でやるんだけど

「蔵王くんだりまでかけていってSFでもありま  
それほら東京でもできる」 そんな声かきこえそうは気が  
します。それはそれでまあ一理あるんでしょうが東京以外  
の地で合宿する必要はないんでしょうか。費用の面から考  
えれば、東京で六泊七日とすればやっぱり一万円くらいか

下宿、サークル論をこけてばかりはいられないと思いま  
す。

「せ合宿をするのかという問いに対する答えは出ていま  
せんが、一週間同じところにいる、しかもに生活するという状  
況に期待できることはいさあるはずなのですが、それ  
さえもわかっこのほいという情ない状態なのです。

かるのでこれは問題にはりません。環境を考えるとどうも  
東京は住むに良い所ではなさそうなので合宿にもあまり向  
かないように思っています。それに皆集まって共同生活するの  
は年に二回ですのど気分転換の意味でかけてみるのもい  
いんじゃないかと思えます。蔵王まで……と思っ、とい  
る人には並にきいてみたり、東京にくすぶっていいSFで  
もあるまい。蔵王あたりにはかけてみないか。」と。

そう、特に理由はない。あつてたまるか。ほんで合宿せ  
るのかわかっちゃんはいないんだから。

でもこういうことはいえろと思うんです。——今回の合  
宿は「旅行がから」ということではない。SFに本腰をい  
れてせまってみるのだ。だから、なるべく頭のサエそうな  
ところへいこう、と。

＊ 結局どういうことなんだろうと思いつ

どうしてこんなにはイキパラはきやたらないんだろ。一  
ーやっぱり今までの合宿をふり返ってみる時感あるあの、  
焦燥感、これから先に対して希望的になれないような成果  
（？）しか上げられなかつたという焦燥感にかきたえられ  
るせいでしょうか。

SF研の合宿なんだから、もっとたのしく、喜々として  
いけるものだと思うんですが——。

# 蔵王への招待

蔵王連峰は奥羽山脈の南部に位し、熊野岳(1841米)を主峰として雁戸、三堂荒神岳、地藏岳、名号峰、刈田岳、屏風岳の山々からなりたつた火山群である。

「お釜」は熊野岳、刈田岳、五色岳に囲まれた爆烈火口であややかなエメラルドグリーンの水をたたえている。

「蔵王パラダイスロッツ」は、海拔1400米、蔵王唯一の景観地、三堂荒神岳のふもと、片貝沼畔にある。景観探勝に最適な中心地で、ゆっくり一日の適遊コースでもある。パラダイス遊歩道をめぐり、ウツボ沼から五郎岳、紅葉峠、ドッコ沼へ。又、地藏岳へ登ると、石の地藏様が鎮座しており、広大な自然植物園がある。

可憐な高山植物の花が次々と咲くと、お山は秋をむかえます。ブナ林やアオモリトドマツ、ダケカンバの中にナナカマドが燃えるように色づき、せがて全山が紅葉茶におみわれます。

合宿期間中の9月末は、東京から晩秋から初冬にかけて、11月頃の気候だそうです。風邪などひかないようにカーディガンぐらいは用意した方がいいでしょう。



【日程】 昭和45年 9月22日 — 9月28日

【場所】 蔵王パラダイスロッツ 山形市蔵王温泉片貝沼畔 (023694) 9311

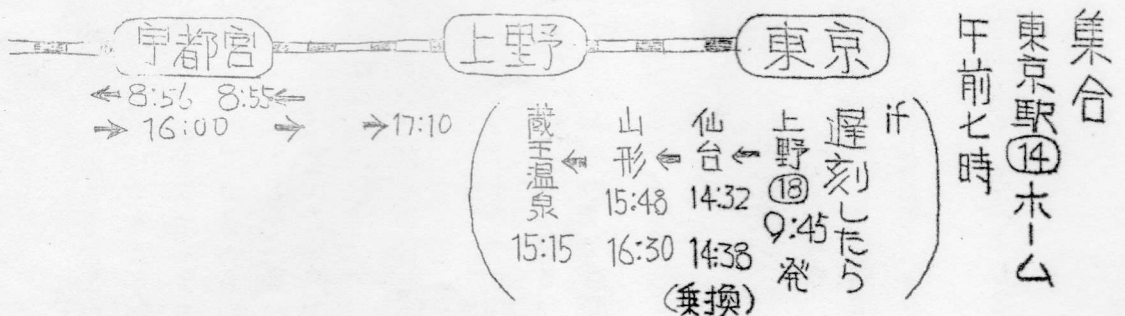
【総費】 10000円 (食 4000円 宿 6000円)

【行程】 東京 → 山形 → 蔵王温泉 → 古土駅 → 蔵王パラダイスロッツ

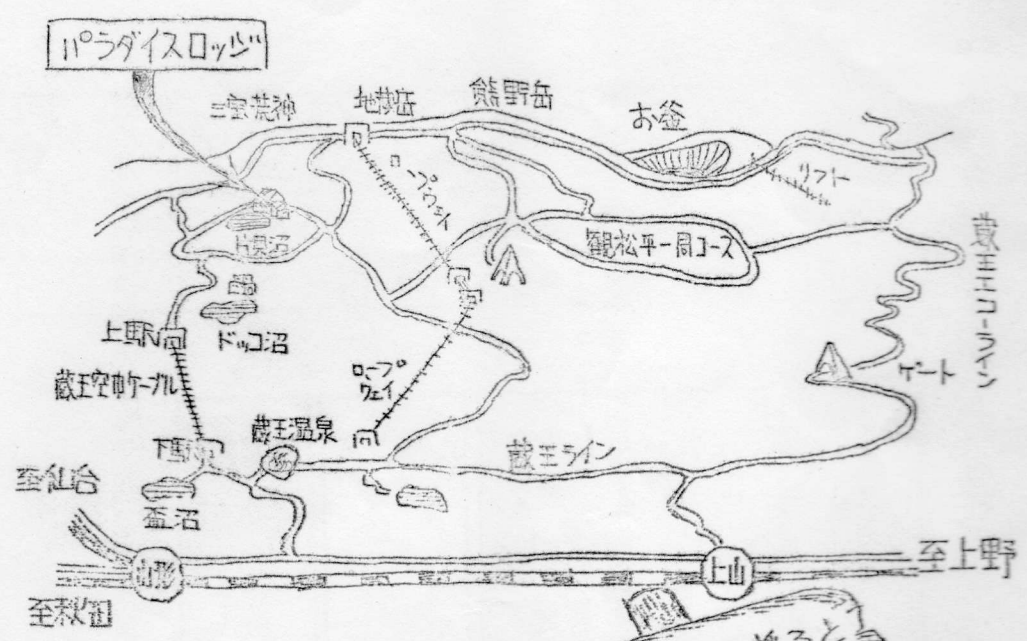
往路 7:30 → 13:34 11:00 → 13:15 → 16:00 → 16:30

復路 17:10 ← 12:35 12:15 ← 11:30 ← 10:45 ← 10:15

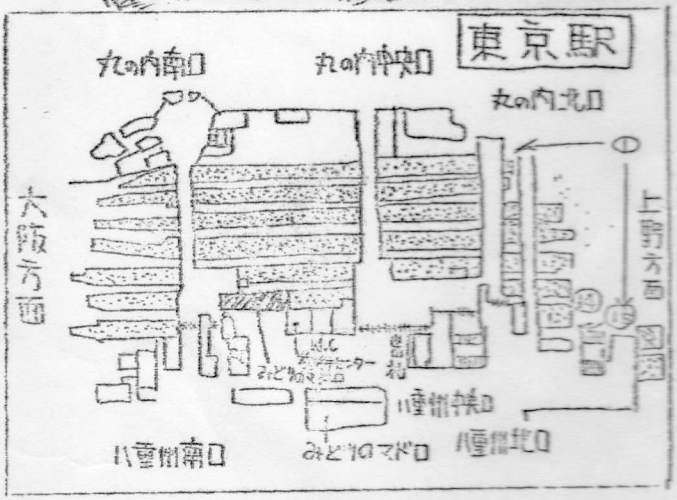
【人員】 25名 (予定)



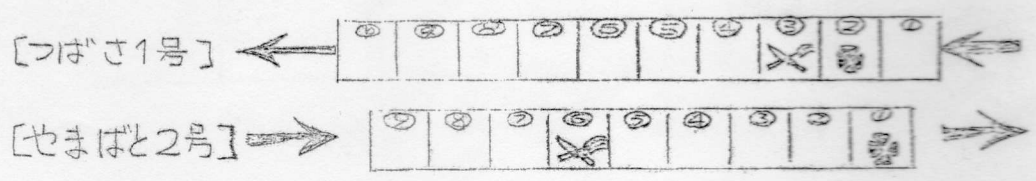
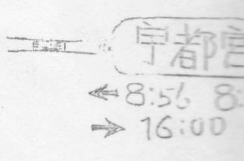
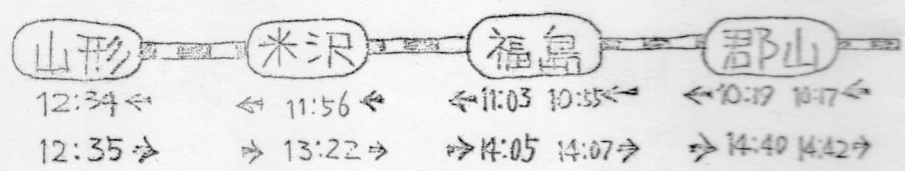
さら晩秋から初冬にかけて、  
 11月頃の気候がちょうどです。風  
 邪などひかないようにカーデ  
 イがなるべくいいは用意した方が  
 いいでしょう。



高山植物を採ると  
 罰せられます。  
 まわりの花は全部高山  
 植物と思えがちがい  
 ありません



- [日程] 昭和45
- [場所] 戴王
- [料費] 1000
- [人数] 25名





# SCHEDULE

22 23 24 25 26 27 28

7:00 AM	東京発	* 起床 自由の如何に拘らずたまたまおこすのだ。 朝食 ねぼうした人は飯抜きなのだ。					
9:00		原書講読 各自 持参	SF講座 ◦NewWave	読書会 其2 ◦シュートツ ムート批評 会	ハイキング	SF講座 ◦東欧のSF	パラダイス ロッツ惹
12:00		昼食 以下、蔵王の長い午後べし			お弁当 お登で昼 食。	昼食	山形惹
1:00 PM	山形着	討論会 ◦SF研 ◦後期活動 ◦舞台祭	読書会 其1 ◦討論 +	SFゼミ ◦SFと 科学		運動会 マイヨツハ 球技会 テニス 体育楽技 ミヤハ 自由時間	
	パラダイス ロッツ惹				早ければ この頃到着		東京着
6:00		夕食					打上コンパ
8:00		おアロにはிரたい人はこの時間に。(注)不可混浴					
		ミーティング	討論会 ツブキ or 自由時間	報告会 ◦国際シ ホツム ◦Tokon・V	Free Talking	ゲーム大会	かくし芸
11:00		* 就寝 疲れましたね。よい子の皆さんねましようね。					

本大会の開催は、主催者の熱意と、協力者の協力によるものであります。

SCHED

22

東京発

7:00 AM

9:00

12:00

1:00 PM

山形着

パラダイス  
ロッジ着

6:00

夕食

8:00

ミーティング

11:00

就寝

企画内容

1. SFFセミナー

メインテーマ 『SFFと科学』

サブテーマ OSMにおける科学とは何か

OSFに科学は不可欠か

OSFとFANTASYの相違

＊ SFFとは「空想科学小説」であり、ガーンズバ  
ック以来ジャンプルまで、SFFに科学は不可欠で  
あった。しかし、バラード・オールデイス等の二  
ユーウェーブの登場によって、クラーク、アッモ  
フ等の代表するパーマネントウェーブの牙城は揺  
ぎ始め、SFFにおける科学の存在性は新めて現在  
のSFF界内の重要問題となってきた。

そこで、我がSFF研ではこの問題を会場におけ  
る意欲的新企画のSFFセミナーのテーマに選ん  
だのである。当然、ゼミナールである以上、庄司  
に井飯が不可欠である様に「レポート」はゼミに  
必然的に存在する。各自、必ず、絶対に、会場ま

2. 原書読書会

＊ 現在のところ、バラードの短編もしくはドイツ  
シユの短編のどちらかを行なう予定だが、今のと  
ころははっきりしな。あまりは全然別々のもの  
なまかもし出ない。つまりは不定なのである。そ  
の点、後日郵送されるものによつて判明するで  
しょう。着いたら、がんばって読んで下せし。  
必ず、絶対、読んでくるのだ！

＊ 担当者——石川もしくは横山

3. TOKON・V TIFTS報告

＊ 今夏、SFFファン待望のTOKON・Vとし  
て国際SFFシンポジウムが、相次いで開かれる。  
当SFF研でも、尚大会に不特定多数の人員を派遣  
し、不完全な取組を敢行する予定である。TOK

ON・Vは主に小島氏、E・S・Fらは主に井沢氏を中心として、合宿において報告を行なうことも予定である。

\* 本土産品予定

- 弱小ファンタムのファンジン
- 会場内を写した8ミリフィルム
- クラーク、オールデイス等著名作家の写真
- 有名作家の直筆サイン
- バラードと握手した右手
- アンダーソンをけっぽった左手
- 会場にいたかわい子ちゃん

#### 4. かくし芸大会

\* SF研創設以来はや幾年、二二について会場、今夏各宿最大のプロジェクト。合宿の成功如何は全て、このビッグ・プロジェクトの出来物にかかっている。コンパと平行して行なうので、コンパを白けさせないために、各人は練習をこくして下す。

\* 合宿までに必ず、総体、各自一っはかくし芸を考へてくろニト。

#### 5. 討論会

\* 特別出演 たんくだん吉(司会)

\* 担当者——竹田(主)・庄司(補)

\* 前期活動をふりかえってみる時、おもわず自ら問わずにはいられぬ。これでいいのかわ、後期をひかえ、駿台祭を含めその活動内容について明確な線をうちわきたいと考えます。そして、当然関わってくる、SF研の性格、方向性、ということについても討論したいと考えます。

#### 6. SF講座

其1 New Wave —— 講師 井沢誠一郎

近年SF界にうちよせはじめた「新しい波」について、井沢先生がお話するのだ。

当会においてもNew Wave は勢力を得、一派を形成しつつある。講師の井沢氏はNW派の雄であるから、講義内容としては、NWを下すよりも、はこは考えられぬ。反NW派は心して出席しよう。講座という形にとらわれぬで、討論、乱



を白けさせないために、各人は役割をつくして下  
す。

\* 合指まで仁心ず、総体、各自一つはかくし芸を  
考へてくるといふ。

題にまで進んでほしい。

其の 東欧のSF — 講師 山田 謙

我園における御説SFの現況は甚だ中絶であり、  
共産圏のそれについては、若干の紹介があるだけ  
どやはり遠い国である。さて今年この未知の目に  
対してあくまで探察を続けているファンが入会し  
たのである。それが今回講師におむかえした山田  
先生である。東欧のSFについてイロイロ話って  
いたゞく予定である。

\* いずれの講座も、各自の予習がより一層内容を豊  
かにするであろう。

### 7. 読書会

メイン・テーマ

#### 破滅

サブ・テーマ

- 。破滅のかたち、可能性
- 。極限状況下の人間 — 行動と思索
- 。破滅のあとにくるもの
- 。破滅と私

を形取しつつある。講師の井沢氏はNW派の雄で  
あるから、講義内容としては、NWをTNナすよう  
なことは考えられぬ。反NW派は心して出席し  
よう。講座という形にとらわれぬで、討論、乱

要諦を多く伝えたい。破滅テーマの下の一つ。思

考実験。という側面を要せず反駁してはるものの一  
つであろう。—— 純文学にないとも、死。亡人の考  
察の自筆筆一手段である。 科学兵器の発達は、死。  
を一個人のものから一考に一手段、いや人類全体のも  
のに拡大した。各個人が自分の死を運っているのと同  
様、人類は今せ、々種としての人類全体の死をその手  
に握っているのだ。人類としての人間を考察する  
時、その「死」はやはり有効な手段であり、SFの破  
滅テーマはそれの最もラディカルな方法である。破滅の  
方法論としてはもちろん最終戦争に限らぬ。(現段階  
ではそれが最も可能性が高いということだ) 侵略あ  
り、細菌あり、天変地異あり、SFは空想の言葉をば  
かかせて人間と地球を極限状況に追いこむのだ。

思考実験としての破滅テーマがいかに魅力的なもの  
かということは、この類のSFが敬慕にいとまがなく、  
又SF黎明期から今日まであり変わらずに産され続け  
ているということが雄弁に物語っている。我々は今回、  
いよいよこの不滅のテーマに正面からとりくむのだ。

\* 資料

(最終戦争)

○「破滅への二時間」 P・ジョージ (早川)

「フェイル・セイフ」 B・ワイラー

◎「コマンダー・1」 P・ブライアント (早川)

——いづれも、その可能性に主眼がおかれ  
る。か、「コマンダー・1」は、極限状況下  
の人間にも言及している。「破滅への……」  
は、博士の異常な感情、又は……の長い題  
で映画化されている。これと「フェイル・セ  
イフ」は、裁判沙汰になるほど良く似た作品  
この中でせめて「コマンダー・1」から  
いは読んでおいてほしい。

◎「渚にこし」 N・シュート (創元)

「生き残る」 R・フォスター

「第七地下壕」 M・ロッシュワルト

◎「地底のエリート」 K・H・ツェル (創元)

○「最終戦争の目撃者」 A・ユッセル

——いづれも、戦後をとり上げたもの。ただ  
し、「生き残る」「第七地下壕」は資料が  
つかからないので、そう思える」という程度。  
「地底の……」が、その可能性ということ  
だいが凝っている。他は、戦争を起こ  
しまったこと、あるいは当然起こること  
してあつたかっている。

「神と野獣の日」 松本清張 (光文社・カハル)

——極限状況下の人間について最もうディカルに  
とり組んだ作品。一読の価値しかない。

「アメリカ滅亡」 W・タッカー

「勝利」 P・ワイラー

「戦略空軍破壊計画」 P・フランク (工風)

——この三冊については未調査・最終戦争モノ  
らしい、ということしか判明していない。

(侵略)

◎「人類皆殺し」 T・M・ディッシュ (早川)

——本格的な異生物侵略破壊物はこれしかない  
ようである。敵は、直接的には未知の植物。  
異星人が地球を農場に選んだのだ。皆殺し  
にされるのは人間ばかりではなく地球上のほ  
とんどの生物である。追いつめられてゆく  
人間の行動と思索が主眼。

「たそがれに還る」 光瀬龍 (早川)

——これを「破滅ターマム」と区分するのは不当  
な評価であろう。か、ともかくラストは破  
滅を暗示しておわるので余裕があつたら読  
んで下さい。

(天変地異)

○「海が消えた時」 C・E・メイン (早川)

◎「3000年」 J・マギントツ (早川)

○「アンドロメダ奇襲隊」

○「復活の日」 小松左京 (早川)

——海が消えた時」は、敵艦には自然現象とはい  
えない。水爆実験による一種の公害である。

B フリー・トーキング

\*担当・司令官 高野 参謀長 小沢 小使 庄司

「地産の……」が、その可能性ということに  
だいたいわかっている。他は、戦争を定めて  
しまったこと、あるいは戦争を定めたことと  
してあつかっている。

○「復活の日」 小松左京（早川）

「海が消えた時」は、敵軍には自然現象とはい  
えない。水爆実験による一種の公害である。  
「アンドロメダ……」と「復活の日」はいず  
れも未知の病源体がテーマで、その可能性  
・状況設定にはかなり注意が払われている。  
「3001」は生き残るべき人間——生き  
ていなくて良い人間の選別基準というテー  
マに正面から取り組む作品。

他に「破滅テーマ」というには少なからず異論が  
あるかもしれぬが次の二作をあけておく。

○「時間都市」 J・G・バラード（創元）

「自由未来」 R・A・ハインライン（早川）

（バラードについては「結晶世界」「流るる世界」  
「かわいた世界の破滅」三部作があるが、これは  
前にとり上げたことがあるので、今回は「時間  
都市」を選定した。）

◎必読の書

○読んでおいた方が望ましい。

その他

「破滅」をテーマに各回、ショート・ショートを一編

以上書いてくること。名前は書かなくてよい。——必

らず書いてくること。

（三巻目）  
○「海が消えた時」 C・E・メイン（早川）  
◎「3001」 J・マキントッシュ（早川）  
○「アンドロメダ病源体」

\*担当・司令官 高野 参謀長 小沢 小使 庄司

B フリー・トーキング

\* 討論会ほど格調高くない、女の言い争いほど醜  
くなく、国会討論会ほど退屈でなく、宴会ほど無  
軌道でなく、教授会ほど愚かしくはない、そんな程  
度のおしやべりの時間。

\*担当・坂井（目）& 株尾

9 アーム大会（ノンソロ娯楽色がデテキターダ）

\* 君は憶えているかしら。あの八丈のトラップ大  
会。ほんとに白けただ中か無理に察しようとした  
カンツのあの夜。（別にいせらしくはない。ね、ね）  
今年はおトラップほどというあちぶらのにせけた  
遊びはあんまりやりたくはないのだ。担当員は趣向  
を繰りして、各会場除霊心にかえって（つまり、  
地を出して）たのしくはなす。

\*担当・竹浪& 藤本

10 球技会

\* 澄んだ空気のなか、おこんと様の下でおもい、ま



りあばれよう、というわけの競技会なのだ。もっ

ともたま道に限りず、花いちもんめは口かごめか

ごめは、ハシカチ落とし、ほども考えられている。

(SF研活動内容検査委員第一書記の非公公式見

録より)

米担当員・小島、向後

11. ハイキング

米 今夏合宿衝激のビッグ・プロジェクト。歳王征服

明大SF研 / 燃える壁 燃える風 燃える心 行

くぞ、無限の地平線。——根城であるパラダイス・

ロッツは、ゆっくり周遊一日のハイキングコース上

にある。このコースは、健脚向というほどキビツク

なく、散策家族向というほどラクではなく、ハイキ

ングという感じには最適である。リーダーは、ヒマ

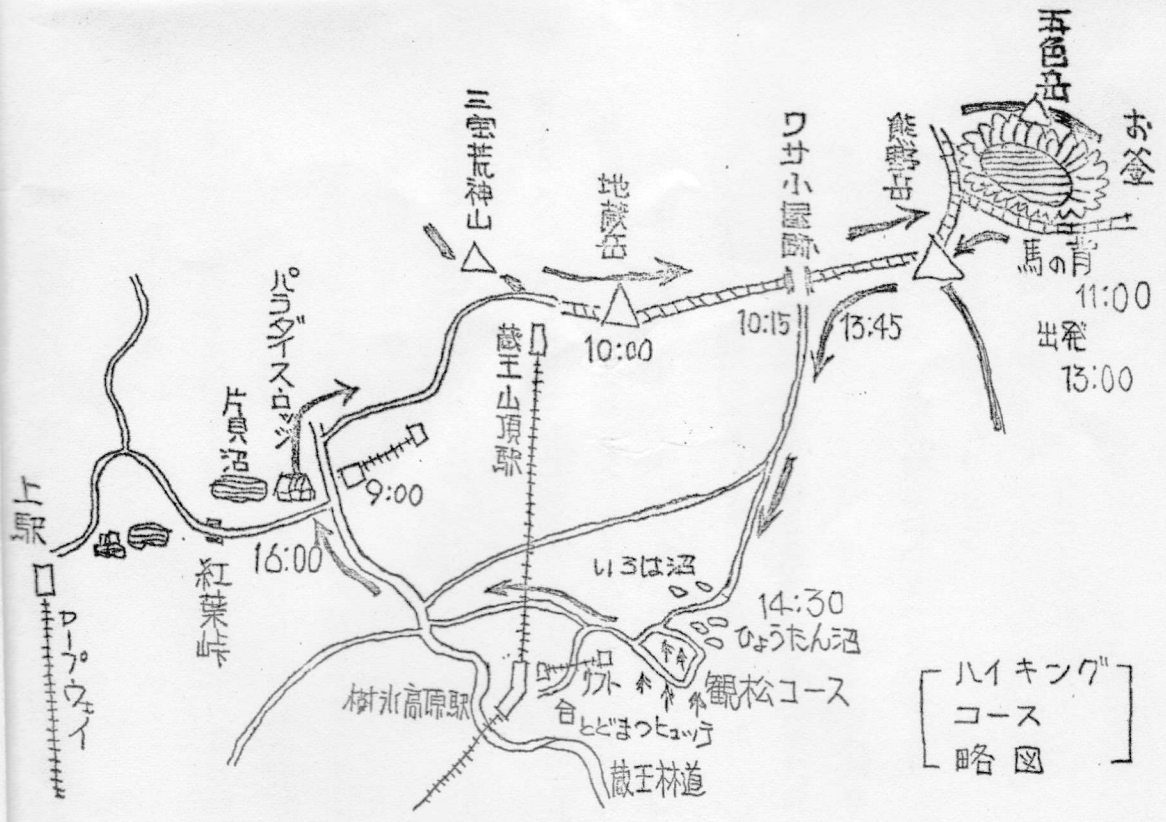
ラヤの弟とし嵐、藤本佳彦その人であることだし道

難等の事故は全く心配ない。

ごは、はりきってでかけよう。

米担当・藤本&出原

米ハイキング・ガイド



はあっと驚く飯豊・朝日連峰、月山が、東方にはは、  
と息をのむ太平洋の地平線、なんと松島湾も眺められ  
る。右下に下ると馬の背で、左側には火口湖のお釜が

ラヤの事とし、其の事佳話その人であることとし、  
龍等の事故は全く心配ない。

では、はりきって出かけよう。

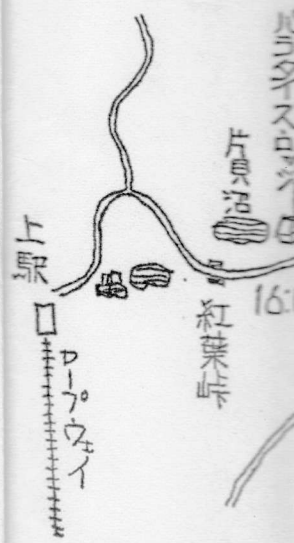
\*担当・藤本 & 出原

\*ハイキング・ガイド

ロッジ前の十字路を山頂流神山を見ながら登りはい  
める。いきなり急坂を行くわけだが、ここでくじけて  
はいけない。四五〇米ほどのリフトもあるが、ドウス  
ルマ、まもなくリフトの上駅に着き、ここからザンゲ  
坂を登る。この付近はもうアオモリトド松が多し、冬  
は樹氷地帯とぼる。登りきくと蔵王ロープウェイの終  
点、蔵王山頂駅にたどりつく。巨大な鉄筋の建物で、  
都会地帯のヤツ馬遣がものめずらしげになかめている。  
又、赤いよだれかけの大きき石地蔵が西を向いて座っ  
ており、後には地蔵避難小屋がある。ついでに真北管  
区警察局長蔵王無敵中継所の小屋もある。石地蔵から三  
宝流神山一帯は自然高山植物園になり、ついで、五分の  
らいでまわれる。

石地蔵から森林限界を抜けて地蔵岳山頂にたどりつ  
く。ここには無人の無線中継所がある。さらに稜線を  
進むと、左手に石地蔵から地蔵岳の奥側山腹をまいて  
きた道が合い、下りとなり、この熊野岳との鞍部、ワサ小  
屋跡につく。ここに蔵王温泉から登ってきた道とこ  
ろと合する。

ワサ小屋跡からは荒れた岩岩帯が続く。やがて蔵王  
の最高峰熊野岳の山頂に着く。蔵王山神社がどちん  
かまわり、近くには山形県が世界に誇る歌人松尾芭蕉  
吉の歌碑がある。山頂の展望はドすばらしく、西方に



はあ、と驚く飯堂・朝日連峰、月山が、東方にはは、  
と息をのむ太平洋の地平線、なんと松島湾も眺められ  
る。右手に下ると馬の背で、左側には火口湖のお釜が  
今にも吹いこまれそう青い湖面を見せ、その赤茶け  
た岩肌とともに神秘的な光景を創り上げている。この  
池は川田野馬所から来た道中なウツァウツァにか、こ  
いることがあるので迷子にならないようにして下せ  
このあたりで適当に場所をみつくる。このお盆ゴハンに  
しよう。

せとほんじてもかけるか。今来た道をワサ小屋跡ま  
でひたすのだ。  
ワサ小屋跡から樹氷高原駅までは道もよく整備され  
てあり、快道は道中であるはずだ。脚下に蔵王沢  
を見ながら針葉樹林の間をゆるい下り坂に沿って進む。  
どこまで続く山道ぞ、とさうさうイヤになつた頃池崎  
帯のいろは沼にはいる。この辺になるとマダモの観花密  
がワロイヤロしはじめ。ここで観松コースにはいっ  
てみよう。樹齢三百年といわれるヒメコマツが、立  
っており、名前せんかかつつけられていたりする。一巡  
してさうまの道と合し、ロープウェイをくぐるとまも  
なく蔵王林道である。  
蔵王林道を登るとすぐおなじみの十字路、ルラガイ  
ス・ロッジがみえる。や、と帰って来たわけだ。  
ところで、白人帰って来たかなー。

12. 打上コンパ

\* 合指も今迄をおしまひ、炬燵の打上コンパだの  
 だ。そして、今夏合指最大のビッグ・プロツェク  
 ト、かくし美入会なのだ。最近の当会のコンパは  
 好せか白けぢみなのだ。しかし、これではいけな  
 いのだ。びわあ、といかなげだめなのだ。合指が  
 まま、たれどつかはこの最後の企鵝にかかつてい  
 るのだ。誰かやる。急げやし。

\* 担当・竹田や心にあす伝口を高野

※ 反省会

\* 当然のように反省会を急行する。冬目、心して  
 射へマデ。

必読品

これだけは忘れるべからず

- SF 1510 の月号
- SF ミニ・レポート 「SFと科学」
- 原書講読テキストとその解説原稿 英和辞典
- SF 辞書(注記を) テーマ「破滅」
- 時局月表
- 漫遊記(ハイキング用)
- 水筒やカリタン
- ハイキング用の服装
- (品物でははいか) 少くとも一つのかくし芸
- カーディガン等冬の衣類
- (特に暖まに弱い人はセーター、どてらナドも)
- 器具、山の道具は変わりやすい